

チャレンジプランの進行管理について（政策評価）

1 政策評価の概要

(1) 目的

① 説明責任の徹底

突破プロジェクトや重点施策等の進捗状況をわかりやすく示すことにより、県民に対する説明責任を徹底する。

② 県民の視点に立った行政サービスの向上

事業の改善、改善方向に基づいた実施、さらなる評価という一連の取組を繰り返すことにより、県民の視点に立った行政サービスの向上を図る。

③ 「活力みなぎる山口県」に向けた施策推進

チャレンジプランに掲げる突破プロジェクトの達成状況の把握、重点施策の点検等を行うことにより、「活力みなぎる山口県」の実現に向けた施策の着実な推進を図る。

(2) 手法

① 重点施策や活力指標の進捗状況、県政世論調査結果の整理

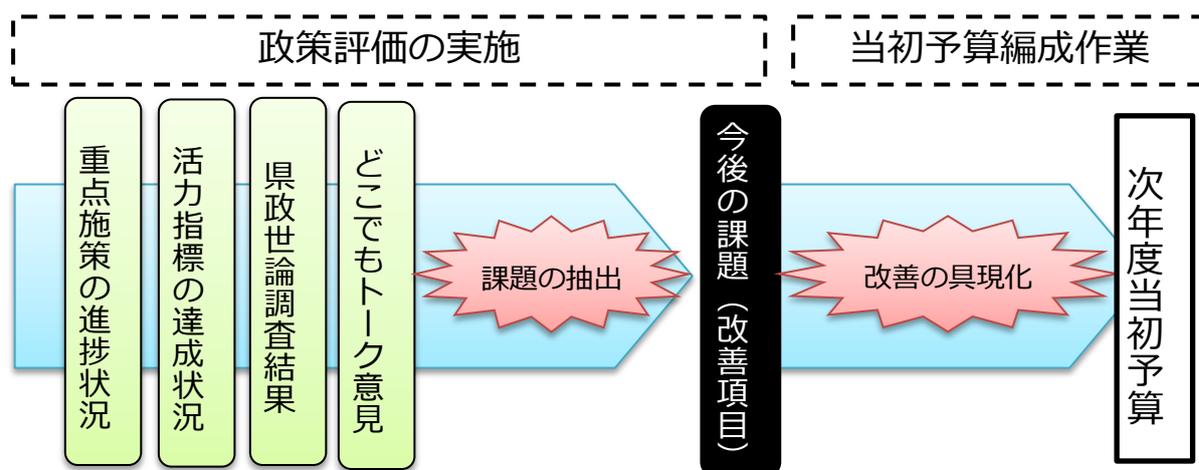
チャレンジプランを着実に推進するため、重点施策の進捗状況をチェックするとともに、活力指標の達成状況、県政世論調査の結果を整理する。

② 課題（改善項目）の抽出

①及び「元気創出！どこでもトーク」で出された意見を踏まえ、各重点施策・突破プロジェクトにおける今後の課題（改善項目）を整理する。

③ 改善の具現化

平成 30 年度当初予算編成等において、今後に向けた改善の具現化を図る。



《参考》「総合戦略」の進行管理

チャレンジプランに掲げた取組のうち地方創生に資する施策を戦略化した「山口県まち・ひと・しごと創生総合戦略」については、この政策評価により、一体的に進行管理を行う。

2 結果の概要

① 世界に広がる産業力強化プロジェクト

【活力指標の進捗状況】

達成状況	項目数	主な指標
目標達成	0	
目標ペースを上回る	1	「国道・県道の整備完了延長」(再掲)
ほぼ目標ペース	3	「新規雇用創出数」、「石炭輸入量」、「主要渋滞箇所数」
目標ペースを下回る	1	「新規投資件数」
目標ペースから大幅に遅れ	1	「工業出荷額」

【県政世論調査の結果】

調査項目	(単位：%)	・そう思う ・どちらかといえば ・そう思う	・どちらともいえない	・そうは思わない ・どちらかといえば ・そうは思わない
港湾や幹線道路、工業用水などの産業基盤の整備が進んでいる		50.7	33.4	12.9
新たな工場・事業所などの進出や、企業の設備の増設などが進んでいる		18.8	44.0	34.1

【プロジェクトにおける今後の展開方向】

- 県内企業の競争力強化を図るため、物流等基盤の強化に資する港湾施設や幹線道路網の整備を促進する必要がある。
- 周南地区の新たな水資源対策である島田川分水事業について、平成 32 年当初の給水開始に向け計画的な事業推進を図るとともに、様々な渇水対策についても着実に取り組む必要がある。
- 若者や女性に魅力ある雇用の場の創出に向け、本県の立地環境や優遇制度を広く発信し、戦略的な企業誘致活動を推進する必要がある。

② 次世代の産業育成プロジェクト

【活力指標の進捗状況】

達成状況	項目数	主な指標
目標達成	3	「医療関連分野での事業化件数」、「環境・エネルギー分野での事業化件数」、「再生可能エネルギーの発電出力」(再掲)
目標ペースを上回る	0	
ほぼ目標ペース	2	「水素利活用による事業化件数」、「新規雇用創出数」(再掲)
目標ペースを下回る	0	
目標ペースから大幅に遅れ	1	「工業出荷額」(再掲)

【県政世論調査の結果】

調査項目	(単位：%)	・そう思う ・どちらかといえば ・そう思う	・どちらともいえない	・そうは思わない ・どちらかといえば ・そうは思わない
医療・環境関連産業や水素の利活用など、今後、発展が期待できる産業の育成や集積が進んでいる		19.3	47.0	31.0

【プロジェクトにおける今後の展開方向】

- 企業等における研究開発・事業化は順調に進んでおり、今後、事業化や裾野の拡大に向けた取組の加速化を図ることが必要である。
- 廃棄物等の 3 R に係る技術開発から製品認定・普及までの切れ目ない支援や優良産廃処理業者の育成支援等により、資源循環型産業の活性化を図る必要がある。
- 今後も水素供給インフラの整備が必要である。

③ 挑戦する中堅・中小企業応援プロジェクト

【活力指標の進捗状況】

達成状況	項目数	主な指標
目標達成	1	「山口県技術革新計画を達成した企業の割合」
目標ペースを上回る	5	「関係支援機関の支援による創業数」、「地域産業資源活用事業計画認定件数」、「高校生の就職決定率」、「職業教育技術顕彰受賞生徒（ハイレベルな資格を取得した生徒）の割合」、「建設産業の技術者・技能者の若年者比率」
ほぼ目標ペース	6	「女性創業セミナーの受講による創業数」、「経営革新計画目標達成企業数」、「やまぐち夢づくり産業支援ファンドによる投資件数」、「公共職業訓練受講生の就職率」、「技能検定合格者数」、「新規雇用創出数」（再掲）
目標ペースを下回る	0	
目標ペースから大幅に遅れ	2	「農商工等連携事業計画認定件数」、「工業出荷額」（再掲）

【県政世論調査の結果】

調査項目	(単位：%)		
	・そう思う ・どちらかといえば そう思う	・どちらともいえない	・そうは思わない ・どちらかといえば そうは思わない
意欲ある人材が「創業」（起業）しやすいように相談体制の整備や融資制度などの環境づくりが進んでいる	13.0	52.0	31.8
意欲的な中堅・中小企業の新商品・新サービスの開発や新たな事業展開などを支援するための取組が進んでいる	11.7	52.5	32.4
商業・サービス業の振興に向けた取組が進んでいる	12.4	49.3	35.0
本県の産業を担う人材の育成や確保に向けた取組が進んでいる	11.3	48.9	35.7

【プロジェクトにおける今後の展開方向】

- 各種創業セミナー受講者の円滑な創業への移行や、女性創業応援ややまぐち株式会社の支援による女性のビジネスプランを着実に進める必要がある。
- ものづくり企業・サービス産業など幅広い産業を効果的に支援していく必要がある。
- 情報サービス産業における連携受注体制の整備に向けた具体的な取組が必要である。
- 高度産業人材など産業界のニーズに応じた人材や、ものづくり産業を担う中核人材、建設業を担う人材の育成・確保が引き続き必要である。

④ 元気な農林水産業育成プロジェクト

【活力指標の進捗状況】

達成状況	項目数	主な指標
目標達成	2	「農林水産物の輸出による売込商品数」、「酒米生産量」
目標ペースを上回る	3	「農林水産分野の「やまぐちブランド」数」、「6次産業化・農商工連携による新商品開発件数」、「漁場の整備面積」
ほぼ目標ペース	6	「地産・地消推進拠点の設置数」、「農林漁業新規就業者数」、「起業した女性グループ等の法人数」、「キジハタ生産量」、「森林バイオマス利用量」、「新規雇用創出数」（再掲）
目標ペースを下回る	2	「JGAP認証件数」、「エコやまぐち農産物認証件数」
目標ペースから大幅に遅れ	4	「集落営農法人数」、「長州黒かしわ出荷羽数」、「県産木材生産量」、「水田高機能化面積」

【県政世論調査の結果】

調査項目	(単位：%)		
	・そう思う ・どちらかといえば そう思う	・どちらともいえない	・そうは思わない ・どちらかといえば そうは思わない
地産・地消や大都市圏・海外への販路拡大、担い手の確保など、農林水産業を振興するための取組が進んでいる	19.8	47.9	29.1
農林水産業者自らが加工、流通・販売などに取り組む6次産業化や農商工連携の取組により、県産農林水産物を活用した商品開発等が進んでいる	19.8	50.2	26.7

【プロジェクトにおける今後の展開方向】

- 新たに構築した県産品受発注システムや今までの取組で得られたネットワーク等を活用し、県産農林水産物の販路拡大を一層進める必要がある。
- 担い手不足は依然厳しい状況であり、受入体制の整備等についてさらなる強化が必要である。
- 産地競争力や経営体質の強化を図るため、集落営農法人・集落営農法人連合体の育成を加速化させる必要がある。
- 農林業への鳥獣被害の軽減のため、「集落（地域）ぐるみ」の計画的な被害防止活動を全県に展開・定着させる必要がある。

⑤ 山口の魅力発信・観光力強化プロジェクト

【活力指標の進捗状況】

達成状況	項目数	主な指標
目標達成	0	
目標ペースを上回る	2	「外国人延べ宿泊者数」、「クルーズ船寄港回数」
ほぼ目標ペース	3	「県ホームページへのアクセス数」、「延べ宿泊者数」、「新規雇用創出数」(再掲)
目標ペースを下回る	0	
目標ペースから大幅に遅れ	0	

【県政世論調査の結果】

調査項目	(単位：%)	・そう思う ・どちらかといえ ばそう思う	・どちらともいえ ない	・そうは思わない ・どちらかといえ ばそうは思わない
首都圏や関西圏などに、山口県の魅力や県産品を売り込むための取組が進んでいる		34.7	38.7	24.3
観光資源やおもてなしの充実など、観光客を増加させるための取組が進んでいる		35.6	37.9	24.0

【プロジェクトにおける今後の展開方向】

- 東京・大阪営業本部の営業機能を最大限発揮し、パブリシティセンターとも連携することにより、山口県の魅力の総合的な売込み強化が必要である。
- やまぐち DMO と連携し、魅力ある観光地域づくりに向けた取組を強化するとともに、データ分析に基づく訴求力の高いプロモーション活動が必要である。
- 明治 150 年に向けた県民機運の一層の醸成を図り、「明治維新胎動の地」である山口県を全国に力強く発信するとともに、先人たちの「志」と「行動力」に改めて学び、未来に向けた県づくりの更なる推進につなげていくことが必要である。
- 誘客拡大のため、「幕末維新やまぐち destination キャンペーン」や「平成の薩長土肥連合」の展開の推進が必要である。
- 外国人観光客のさらなる誘致拡大に向けて、重点市場のニーズ等に応じた効果的な情報発信等の展開が必要である。

⑥ 暮らしやすいまちづくり推進プロジェクト

【活力指標の進捗状況】

達成状況	項目数	主な指標
目標達成	2	「コンパクトなまちづくりに資する計画策定市町数」、「ノンステップバスの導入率」
目標ペースを上回る	2	「デマンド型乗合タクシー等導入数」、「国道・県道の整備完了延長」
ほぼ目標ペース	2	「空港の利用客数」、「主要渋滞箇所数」(再掲)
目標ペースを下回る	0	
目標ペースから大幅に遅れ	0	

【県政世論調査の結果】

調査項目	(単位：%)	・そう思う ・どちらかとい えはそう思う	・どちらともいえ ない	・そうは思わない ・どちらかといえ ばそうは思わない
まちの拠点に生活に必要な福祉・商業施設などを集約するコンパクトなまちづくりが進んでいる		20.2	45.0	31.8
暮らしを支える道路網の整備や公共交通機関の利便性向上のための取組が進んでいる		43.6	29.9	23.6

【プロジェクトにおける今後の展開方向】

- コンパクトなまちづくりを進めるため、県内市町の立地適正化計画の策定及び計画の実現に向けた取組を支援していく必要がある。
- 山口ゆめ花博に向けて、策定した基本計画に基づき開催準備を進めていく必要がある。
- 地域や産業の活力を創出する重要な基盤である道路網の整備を引き続き推進する必要がある。
- 山口宇部空港・岩国錦帯橋空港の利用促進の取組を強化するとともに、国際定期便路線の実現に向けた連続チャーター便の誘致拡大が必要である。

⑦ 地域の元気創出応援プロジェクト

【活力指標の進捗状況】

達成状況	項目数	主な指標
目標達成	3	「地域おこし協力隊員数」、「重層的な見守り体制を整備した市町数」、「体験型教育旅行受入地域数」
目標ペースを上回る	3	「中山間地域支援活動の延べ参加者数」、「農山漁村交流滞在人口」、「UJIターン相談件数」
ほぼ目標ペース	2	「『地域の夢プラン』作成数」、「県民活動団体数」
目標ペースを下回る	0	
目標ペースから大幅に遅れ	2	「農林漁家民宿数」、「Uターン就職学生数（若者就職支援センター登録者）」

【県政世論調査の結果】

調査項目	(単位：%)		
	・そう思う ・どちらかといえば ・そう思う	・どちらともいえない	・そうは思わない ・どちらかといえば ・そうは思わない
中山間地域の暮らしを守り、地域づくりを支援する取組が進んでいる	13.0	48.8	35.1
NPO、ボランティアなどによる県民活動や住民による見守り活動が活発に行われている	28.8	45.3	23.0
中山間地域の地域資源を活用して、農林漁業などの体験を伴う修学旅行の受入など、新たなビジネスを行うための取組が進んでいる	11.9	50.2	35.1
県外からの移住・定住者を増やすための取組（UJIターンなど）が進んでいる	16.9	45.2	35.1

【プロジェクトにおける今後の展開方向】

- 「やまぐち元気生活圏」の県下全域での形成に向けて、市町による推進方針の策定や地域が行う自主的・主体的な取組に対する支援の充実を図ることが必要である。
- 県民活動の活発化を図るため、「やまぐち社会貢献活動支援ネット（あいかさネット）」の利用促進や県民活動団体の基盤強化に継続して取り組む必要がある。
- やまぐちスロー・ツーリズムの推進のため、一元的な情報発信などの体制強化が必要である。
- UJIターンのさらなる推進のために、移住先としての山口県の認知度を高め、本県に興味関心のある層を確実に移住につなげていくことが必要である。
- 政府関係機関等の移転が実現した2機関については移転効果の発揮に向け、また、移転が予定されている機関については移転の早期実現に向け、引き続き積極的に取り組む。

⑧ ふるさとの自然環境保全プロジェクト

【活力指標の進捗状況】

達成状況	項目数	主な指標
目標達成	2	「再生可能エネルギーの発電出力」、「EV急速充電器の設置数」
目標ペースを上回る	0	
ほぼ目標ペース	4	「多量排出事業者の産業廃棄物の最終処分量」、「保健所に引き取られる犬・猫の数」、「環境基準の達成率」、「森林バイオマス利用量」（再掲）
目標ペースを下回る	2	「生物多様性の認知度」、「豊かな流域づくり取組箇所数」
目標ペースから大幅に遅れ	0	

【県政世論調査の結果】

調査項目	(単位：%)		
	・そう思う ・どちらかといえば ・そう思う	・どちらともいえない	・そうは思わない ・どちらかといえば ・そうは思わない
再生可能エネルギーの導入促進や地球温暖化対策の取組が進んでいる	18.0	50.0	28.6
廃棄物の削減に向けたリサイクルなどの対策や廃棄物の適正処理の取組が進んでいる	37.7	41.5	18.5
自然環境や大気・水環境等の保全に向けた取組が進んでいる	23.4	51.4	21.9

【プロジェクトにおける今後の展開方向】

- 再生可能エネルギーの導入は順調に進んでおり、引き続き導入促進の取組が必要である。
- ごみの減量化、海洋ごみ対策、災害時の廃棄物処理対策等、廃棄物の3Rや適正処理の推進に引き続き取り組む必要がある。
- 犬猫の引取り数は減少し、譲渡数も増加しており、殺処分数は大幅に減少したが、引き続き、野犬が多く定着している地域を中心に、殺処分数の削減に向けた取組の強化が必要である。
- 野生鳥獣の適正管理に向けた捕獲等の担い手の確保・育成、捕獲体制の強化等が必要である。
- 環境基準の達成率維持・向上のため、引き続き工場・事業場に対する監視指導の徹底が必要である。

⑨ 子育てしやすい環境づくり推進プロジェクト

【活力指標の進捗状況】

達成状況	項目数	主な指標
目標達成	3	「やまぐち子育て県民運動サポート会員登録数」、「延長保育実施箇所数」、「地域子育て支援拠点数」
目標ペースを上回る	2	「小児救急医療電話相談の件数」、「『やまぐち子育て応援企業宣言』届出企業数」(再掲)
ほぼ目標ペース	4	「放課後児童クラブ実施箇所数」、「里親委託率」、「病児・病後児保育実施箇所数」、「小児科医師数」
目標ペースを下回る	1	「やまぐちイクメン応援企業宣言登録企業数」(再掲)
目標ペースから大幅に遅れ	1	「男性の育児休業取得率」(再掲)

【県政世論調査の結果】

調査項目	(単位：%)	・そう思う ・どちらかといえば ・そう思う	・どちらともいえない	・そうは思わない ・どちらかといえば ・そうは思わない
結婚、妊娠・出産、子育ての希望を叶えるための支援が進んでいる		19.5	45.7	31.7
安心して子どもを生み育てるための周産期・小児医療体制の整備などが進んでいる		19.9	45.9	31.1

【プロジェクトにおける今後の展開方向】

- 結婚から妊娠・出産、子育てまで切れ目のない支援をより一層強化する必要がある。
- 小児科・産婦人科の医師確保や助産師の活用など、周産期医療体制の充実を図る必要がある。
- 児童虐待の発生予防から自立支援まで一連の対策のさらなる強化等を図るため、引き続き児童相談所の体制強化等を図る必要がある。
- 社会的養護の充実について、児童相談所を中心とした里親の登録からアフターフォローまでの一貫した支援体制を構築するとともに、委託可能な里親を増やしていく必要がある。

⑩ 次代を拓く教育充実プロジェクト

【活力指標の進捗状況】

達成状況	項目数	主な指標
目標達成	3	「コミュニティ・スクールの設置率」、「体験的なキャリア教育の実施割合」、「大学生等の県内就職割合(若者就職支援センター登録者)」
目標ペースを上回る	0	
ほぼ目標ペース	3	「全国学力・学習状況調査正答率の全国平均との差」、「不登校児童生徒数」、「いじめの解消率」
目標ペースを下回る	1	「山口県立大学新規卒業者の県内就職割合」
目標ペースから大幅に遅れ	0	

【県政世論調査の結果】

調査項目	(単位：%)	・そう思う ・どちらかといえば ・そう思う	・どちらともいえない	・そうは思わない ・どちらかといえば ・そうは思わない
地域とともにある学校づくりを進める「コミュニティ・スクール」の設置など、子どもたちの豊かな心の育成や、たくましい体づくりに向けた取組が進んでいる		25.1	48.2	23.2
35人学級化や少人数指導など、子どもたちの学力向上に向けたきめ細かな学習指導ができる体制の整備が進んでいる		26.0	50.6	19.9
相談・支援体制の充実など、いじめ、不登校対策が進んでいる		13.0	55.9	27.0
特色ある学校づくりなど、学校の教育環境の整備が進んでいる		16.7	54.9	23.9
大学などが参画した地域づくり活動など、大学などによる地域貢献や地域活性化の取組が進んでいる		18.5	50.5	27.1

【プロジェクトにおける今後の展開方向】

- 「やまぐち型地域連携教育」の一層の充実を図るため、学校運営協議会の活性化による学校課題の解決、ふるさとを愛する心の育成、家庭教育支援の充実に重点的に取り組む必要がある。
- 小・中学生の学力向上に向けて、指導改善に係る取組の充実が必要である。
- グローバル人材の育成など、世界スカウトジャンボリーの成果を活かした取組が必要である。
- キャリア教育の充実に向けて、引き続き全県的な推進体制の強化等が必要である。
- 少人数教育のさらなる推進、特別支援教育に関する支援体制の更なる充実、いじめの防止・根絶に向けた取組の検証・改善が必要である。
- 大学リーグやまぐち等と連携し、学生の県内進学・就職・定着に向けた取組を一層推進する必要がある。
- 県民の多様な教育ニーズに対応するため、私立学校に対し引き続き支援を行う必要がある。

⑪ みんなが活躍できる地域社会の実現プロジェクト

【活力指標の進捗状況】

達成状況	項目数	主な指標
目標達成	3	「ふれあい・いきいきサロン数」、「県立美術館の入館者数」、「やまぐち子育て県民運動サポート会員登録数」（再掲）
目標ペースを上回る	5	「やまぐち子育て応援企業宣言届出企業数」、「若者就職支援センター登録者の就職決定者数」、「就労継続支援B型事業所における工賃」、「障害者芸術文化祭の参加者数」、「『我がまちスポーツ』の取組への参加者数」
ほぼ目標ペース	5	「農山漁村の女性リーダー数」、「やまぐち男女共同参画推進事業者数」、「キラリンピック参加者数」、「国民体育大会総合成績」「放課後児童クラブ実施箇所数」（再掲）
目標ペースを下回る	2	「やまぐちイクメン応援企業宣言登録企業数」、「手話通訳等の意思疎通支援者数」
目標ペースから大幅に遅れ	1	「男性の育児休業取得率」

【県政世論調査の結果】

調査項目	(単位：%)		
	・そう思う ・どちらかといえば そう思う	・どちらともいえない	・そうは思わない ・どちらかといえば そうは思わない
男女が性別にかかわらず、個性や能力を発揮できる社会づくりが進んでいる	17.4	54.1	24.7
企業の合同就職説明会の開催など、若者の就職支援に向けた取組が進んでいる	28.6	47.9	18.9
高齢者などシニアが、スポーツ・文化活動や社会貢献活動などに活躍することができる社会づくりが進んでいる	36.6	42.7	17.8
障害のある人に対する理解が進み、障害のある人が就労したり、スポーツ・文化活動を行うことができる社会づくりが進んでいる	25.7	49.6	21.7
文化・芸術活動が盛んに行われている	31.3	46.6	19.2
スポーツ活動が盛んに行われている	39.4	42.6	15.0

【プロジェクトにおける今後の展開方向】

- 女性の活躍促進に向けて、ポジティブ・アクションの取組支援の充実とともに、働き方改革の一環としてさらなる環境整備が必要である。
- 県内中小企業の情報を学生、保護者、就職担当者へ着実に伝え、県内就職の促進を図る必要がある。
- 高齢者も地域社会の担い手として活躍することが求められていることから、社会参加への一層の支援が必要である。
- 障害福祉サービスの提供体制の充実に向けて、市町や事業者との一層の連携強化が必要である。
- 本県文化のさらなる振興に向けて、美術館と関係機関等との連携や後継者の育成に対する一層の支援が必要である。

⑫ 災害に強い県づくり推進プロジェクト

【活力指標の進捗状況】

達成状況	項目数	主な指標
目標達成	4	「ハザードマップ整備市町数」、「土砂災害特別警戒区域の指定完了市町数」、「工業用水道管路の更新整備延長」、「県立学校の耐震化率」
目標ペースを上回る	1	「橋梁の長寿命化計画に基づく修繕実施数」
ほぼ目標ペース	5	「治山ダム等の整備地区数」、「私立学校の耐震化率」、「橋梁の耐震補強実施数」、「防災拠点となる公共施設等の耐震化率」、「自主防災組織活動カバー率」
目標ペースを下回る	1	「市町立学校の耐震化率」
目標ペースから大幅に遅れ	1	「ため池の整備箇所数」

【県政世論調査の結果】

調査項目	(単位：%)		
	・そう思う ・どちらかといえば そう思う	・どちらともいえない	・そうは思わない ・どちらかといえば そうは思わない
大雨、台風、地震などに対する防災・減災対策やインフラの老朽化対策が進んでいる	26.6	45.8	25.0
学校やホテル・旅館、住宅など、建築物の耐震化が進んでいる	25.7	44.2	27.4
地域における防災活動や防災の担い手づくりに向けた取組が進んでいる	17.7	52.4	26.9

【プロジェクトにおける今後の展開方向】

- 大規模な自然災害等に迅速・的確に対応するため、ソフト・ハード両面から防災・危機管理体制の充実・強化を図っていく必要がある。
- 公共土木施設等の急速な老朽化に対応するため、個別施設計画の策定を進め、維持管理費の縮減や更新費用の平準化を図るとともに、施設等の維持管理・更新を確実に実施する必要がある。
- 南海トラフ地震等に備え、公共施設等の耐震化を推進していく必要がある。
- 地域ぐるみによる防災活動を支援し、引き続き、地域防災力の充実強化を図る必要がある。

⑬ 安心の保健・医療・介護充実プロジェクト

【活力指標の進捗状況】

達成状況	項目数	主な指標
目標達成	2	「地域包括支援センターの設置数」、「重層的な見守り体制を整備した市町数」(再掲)
目標ペースを上回る	2	「認知症サポーター養成数」、「小児救急医療電話相談の件数」(再掲)
ほぼ目標ペース	4	「救急救命士常時運用率」、「県福祉人材センターの紹介就職者数」、「健康寿命」、「小児科医師数」(再掲)
目標ペースを下回る	1	「在宅療養支援病院数・在宅療養支援診療所数」
目標ペースから大幅に遅れ	2	「がんの年齢調整死亡率」、「二次・三次救急医療機関における時間外救急患者のうち、入院を要しない軽症患者の割合」

【県政世論調査の結果】

調査項目	(単位：%)	・そう思う ・どちらかといえば ・そう思う	・どちらともいえない	・そうは思わない ・どちらかといえば ・そうは思わない
地域において保健・医療サービスの提供を受けられる体制の整備が進んでいる		29.4	44.7	23.6
医療や介護が必要になっても、高齢者が地域で安心して生活できる体制の整備が進んでいる		22.4	43.1	32.1
生活習慣病の予防など、県民の健康づくりに向けた対策が進んでいる		28.3	48.9	20.5

【プロジェクトにおける今後の展開方向】

- 医師の地域・診療科偏在の解消に向けた継続的な取組が必要である。
- 在宅医療への移行等により看護職員の需要の増加が見込まれることから、引き続き、総合的な確保対策の取組が必要である。
- 地域医療構想の実現に向け、医療関係者間の連携を推進するための協議を促進する必要がある。
- がん死亡率の減少に向け、がん検診による早期発見、がん医療の質的な充実、がん患者の苦痛の軽減等、一層の取組が必要である。
- 救急医療体制の充実に向け、引き続き、適正受診の普及啓発や医療機関・消防機関の連携強化等の取組が必要である。
- 地域包括ケアシステムの深化・推進のため、医療・介護連携、認知症対策の推進、介護人材の確保・養成とともに、高齢者の自立支援、介護予防、重度化防止の取組の強化が必要である。
- 健康寿命の延伸に向けた効果的な施策の展開が必要である。

⑭ 日々の暮らし安心・安全確保プロジェクト

【活力指標の進捗状況】

達成状況	項目数	主な指標
目標達成	1	「消費生活相談員配置市町数」
目標ペースを上回る	4	「少年安全サポーターの講習実施率」、「女性の犯罪被害防止対策講座の受講者数」、「通学路における子どもの交通事故負傷者数」、「高齢者交通事故死者数」
ほぼ目標ペース	3	「食中毒発生件数」、「人身交通事故の発生件数」、「刑法犯認知件数」
目標ペースを下回る	2	「JGAP認証件数」(再掲)、「エコやまぐち農産物認証件数」(再掲)
目標ペースから大幅に遅れ	1	「振り込め詐欺等特殊詐欺認知件数・被害額」

【県政世論調査の結果】

調査項目	(単位：%)	・そう思う ・どちらかといえば ・そう思う	・どちらともいえない	・そうは思わない ・どちらかといえば ・そうは思わない
食品の検査や消費生活センターにおける相談など、食や消費生活の安心・安全の確保に向けた対策が進んでいる		20.7	57.8	18.9
安全で安心して暮らせる社会づくりに向けて、犯罪や交通事故の防止に向けた対策が進んでいる		28.1	51.0	18.3

【プロジェクトにおける今後の展開方向】

- 食品検査の充実や、事業者の HACCP 手法導入による衛生管理の高度化、食品表示適正化に向けた自主的な取組等を引き続き促進する必要がある。
- 専門相談員による消費者被害防止の取組、消費者教育の推進が引き続き必要である。
- 特殊詐欺について、全国的に被害が多発し、犯行手口も多様化していることから、県民の抵抗力を高める対策と水際阻止対策を強力に推進する必要がある。
- 子ども・高齢者を交通事故から守り、安全で円滑な交通を確保するため、通学路の歩道整備等の交通事故抑止対策を総合的に推進する必要がある。
- 地域住民の安心・安全の確保のため、警察署・交番等の計画的な整備が必要である。

⑮ 持続可能な行財政基盤強化プロジェクト

【活力指標の進捗状況】

達成状況	項目数	主な指標
目標達成	1	「県から市町への権限移譲パッケージ数」
目標ペースを上回る	0	
ほぼ目標ペース	2	「一般分の県債残高」、「財源調整用基金残高」
目標ペースを下回る	0	
目標ペースから大幅に遅れ	0	

【県政世論調査の結果】

調査項目	(単位：%)		
	・そう思う ・どちらかといえば そう思う	・どちらともいえない	・そうは思わない ・どちらかといえば そうは思わない
県と市町が連携・協力して様々な事業に取り組み、住み良い地域づくりが進んでいる	19.6	54.8	22.4
県の職員数の適正管理や財政の健全化など、県の行財政基盤の強化に向けた取組が進んでいる	13.7	56.7	25.9

【プロジェクトにおける今後の展開方向】

- 簡素・効率的で活力のある組織づくりに向け、今後とも行政改革や職員の資質向上など不断の取組を行っていく。
- 財政収支見通しにおいて、今後も多額の財源不足が見込まれていることから、持続可能な財政構造の確立に向け、より一層取組を進めていく必要がある。